

## 海上輸送に係る周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について

海上輸送に係る周辺環境モニタリングは、搬出入施設である豊島、直島の栈橋工事開始前、工事完了後、供用開始後に実施し、周辺環境への影響を把握することを目的としている。今回、海上輸送の開始後である平成 15 年 6 月に実施した水質調査結果及び 8 月に実施した水質調査結果及び底質調査結果をとりまとめた。

### 1. 調査の経緯

	調査区分	調査期間	栈橋工事、海上輸送との関連
報告済	搬出入施設工事開始前	平成 12 年 7 月 27 日 (火)	豊島、直島の栈橋工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
		平成 13 年 3 月 8 日 (木)	
		平成 13 年 7 月 18 日 (水)	
	搬出入施設工事完了直後	平成 15 年 3 月 18 日 (火)	豊島、直島の栈橋工事の終了後(平成 15 年 2 月)、供用開始する前に実施した。
今回報告	供用開始後	平成 15 年 6 月 9 日 (月) (水質調査)	海上輸送の開始後に実施した。
		平成 15 年 8 月 4 日 (月) (水質調査、底質調査)	同上
分析中		平成 15 年 11 月 11 日 (火) (水質調査、底質調査)	同上

### 2. 調査の概要

#### (1) 調査地点（調査地点図参照）

豊島南海岸、B 1（環境基準点）及び直島の搬出入施設周辺地先海域

#### (2) 検体採取機関及び分析機関

県直島環境センター、県環境保健研究センター

### 3. 調査結果の概要

#### (1) 水質（表 1）

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（生活環境保全上の基準：7 項目）

- ・ 8 月 4 日の豊島南海岸、直島の地先海域において COD が環境基準値を上回っていた。
- ・ 6 月 9 日及び 8 月 4 日の豊島南海岸と B 1、6 月 9 日の直島の地先海域において DO が環境基準を満足しなかった。
- ・ 6 月 9 日の 3 地点全てにおいて全窒素が環境基準値を上回っていた。
- ・ 6 月 9 日の豊島南海岸、8 月 4 日の直島の地先海域において全燐が環境基準を上回っていた。
- ・ それ以外については、全ての地点において環境基準を満足していた。

○健康項目（人の健康を保護する上での基準：25項目）

- ・6月9日及び8月4日とも、3地点全てにおいて硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出されたが、環境基準値を下回っていた。
- ・それ以外については、全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○ダイオキシン類

- ・全ての地点において環境基準を満足していた。

(2) 底質（表2）

- ・6月9日及び8月4日とも、これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。
- ・総水銀が3地点全てにおいて検出されたが、暫定除去基準値以下であった。
- ・PCBが豊島南海岸において検出されたが、暫定除去基準値以下であった。
- ・ダイオキシン類は、全ての地点において、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準値を下回っていた。

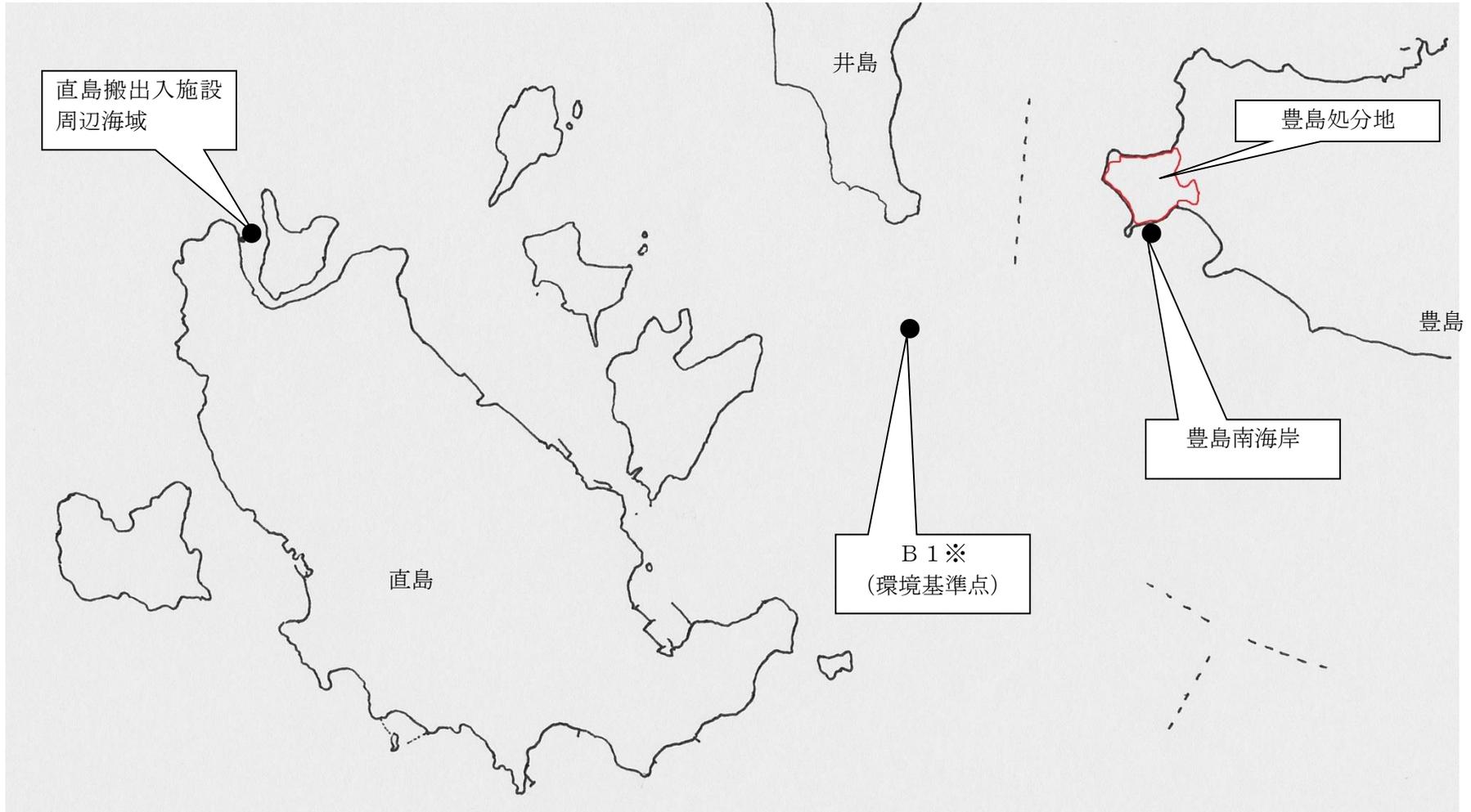


表2 海上輸送に係る周辺環境モニタリング(底質)

(送熱質量: %, び付砂量: pg-TEQ/g-dry, pHを除く単位: mg/kg-dry)

測定場所	測定項目	pH	COD	硫化物	強熱質量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全シジミ	PCB	び付砂	総鉄	総銅	重鉛	ニッケル	総鉛	総鉄	有機リン	び付砂
豊島南海岸	H15.8.4	7.6	6,200	90	4.9	190	0.03	0.09	14	3.9	ND	0.01	ND	39	12,000	420	22	39	ND	ND	2.3
	H15.3.18	7.8	3,600	18	3.7	32	0.07	0.11	13	4.6	ND	ND	ND	54	16,000	420	12	54	ND	ND	3.3
	H13.7.18	7.5	9,200	60	5.1	120	0.09	0.11	21	5.3	ND	ND	ND	52	21,000	540	21	52	ND	ND	4.6
	H12.7.27	7.8	4,800	6	3.8	81	0.08	0.10	23	5.1	ND	ND	ND	51	16,000	540	18	51	ND	ND	2.8
B-1	H15.8.4	7.9	2,200	2.3	1.7	43	0.02	ND	6	4.5	ND	ND	ND	23	8,000	950	13	23	8,000	ND	2.0
	H15.3.18	7.7	3,200	3	3.0	72	0.13	0.05	15	6.0	ND	ND	ND	30	14,000	480	12	30	14,000	ND	3.6
	H13.7.18	7.7	2,900	20	2.2	47	0.07	0.14	13	6.3	ND	ND	ND	50	12,000	390	10	50	12,000	ND	1.4
	H15.8.4	7.7	5,400	51	3.6	290	1.0	3.4	350	100	ND	ND	ND	29	48,000	510	26	29	48,000	ND	6.6
重島の出入船の周辺地帯海域	H15.3.18	7.7	5,400	230	6.7	360	0.14	1.5	110	44	ND	ND	ND	59	32,000	870	21	59	32,000	ND	4.4
	H13.7.18	7.8	2,700	3	2.3	21	0.19	0.16	43	12	ND	ND	ND	19	12,000	520	20	19	12,000	ND	1.0
	H13.3.8	7.4	14,000	330	7.5	950	1.4	0.22	140	55	ND	ND	ND	59	35,000	730	32	59	35,000	ND	7.4
	平均値	7.6	6,600	176	3.7	387	0.44	0.19	25	5.3	<0.1	<0.01	<0.01	32	—	—	—	32	—	<0.1	4.2
県内底質 ※1	最小	6.6	320	<1	1.0	<80	0.01	<0.05	5.3	0.97	<0.1	<0.001	—	4.6	—	—	—	4.6	—	<0.1	0.52
	最大	8.2	23,000	1,500	11	1,400	5.1	1.1	120	12	0.2	<0.01	—	65	—	—	—	65	—	<0.1	9.4
暫定除去基準 換出下限値 (ND)	—	—	—	—	—	—	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.1	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1 県及び市町が平成8年度から平成10年度までに行った県内における底質の経年変動をまとめたものである。但し、び付砂量については環境庁実施「平成11年度公共用水域等のび付砂量調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。



調査地点図